

登録コード	A3591394		開講年度	2026			
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	近藤 文哉
英文授業名	Presentation						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				フィールドデータサイエンスの核となるバイオインフォマティクス、分子遺伝学、園芸・育種学における専門用語・表現に慣れ、農学分野におけるスタンダードなプレゼンテーション方法を実践できる。		
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				国内・国外の学術論文や学生自身の実験・解析結果を適切に要約し、その内容をプレゼンテーションできる。		
	2 0 2 6 A3 編（24A）, 2 0 2 5 A3 編（23A）, 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				フィールドデータサイエンスの核となるバイオインフォマティクス、分子遺伝学、園芸・育種学における専門用語・表現に慣れ、農学分野におけるスタンダードなプレゼンテーション方法を実践できる		
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				国内・国外の学術雑誌や学生自身の実験・解析結果を適切に要約し、その内容をプレゼンテーションできる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	学術論文（和文・英文）や専攻研究Ⅱにおける学生自身の実験・解析レポートをPower pointを用いてまとめ、プレゼンテーションを行う。フィールドデータサイエンスの核となるバイオインフォマティクス、分子遺伝学、園芸・育種学における専門用語・表現に慣れながら、農学分野におけるスタンダードなプレゼンテーション方法を学ぶ。						
(5)授業計画	本授業は不定期のため、各回の授業内容は指定されていませんが、以下の解説・演習を行う予定です。 ・パワーポイントの使い方・機能の解説 ・発表内容の要約・スライド構成・分かりやすい話し方に関する解説 ・学術論文や学生自身の実験・解析の要約 ・パワーポイントを用いたプレゼンテーションの実践						
(6)自主学習の指針	他者の様々なプレゼンテーションをみて、良いアイデアがあれば積極的に自身のプレゼンテーションにも取り入れて下さい。						
(7)成績評価の基準	学生によって準備されたプレゼンテーションに基づき、以下の観点を踏まえて総合的に評価します。 ・元の文献・データを正確に解釈できているか。 ・元の文献・データを適当に要約できているか。 ・スライドデザインが他者に伝わるよう工夫されているか。 ・口頭による説明が他者に伝わるように工夫されているか。						
(8)事前事後学習の内容	演習で得られる他者からのフィードバックを踏まえて、次回にさらに良いプレゼンテーションができるよう努めてください。						
(9)テストやレポートの予定	学生によって準備されたプレゼンテーションに基づき、以下の観点を踏まえて総合的に評価します。						
(10)成績評価の方法	成績評価の基準に記載した通り、学生によって準備されたプレゼンテーションのに基づいて判断します。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	研究室（C412）にて直接対応します。不在の場合はfkondo@shinshu-u.ac.jpにメールをお送りください。						
(12)履修上の注意							
【教科書】	適宜指定します。						
【参考書】	適宜指定します。						